

2025年4月25日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」、 「Active! mail」のバージョン情報と緊急度の高い脆弱性が検知可能に

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、2025年4月25日（金）に、ホワイトハッカーのノウハウを詰め込んだアタックサーフェスマネジメント（Attack Surface Management、以下 ASM）^{（※1）} ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の自動脆弱性診断機能を拡張し、Web メールソフトウェア「Active! mail（アクティブメール） 以下、「Active! Mail」」のバージョン情報および既知の脆弱性が検知可能となりました。

「Active! mail」は2025年4月18日（金）に脆弱性対策情報ポータルサイト「JVN（Japan Vulnerability Notes）」にて「スタックベースのバッファオーバーフローの脆弱性（CVE-2025-42599）」という緊急度が極めて高い脆弱性が公開されており、提供元の株式会社クオリティアはユーザーに対し最新バージョンにアップデートを呼びかけています。

（※1） IT 資産の脆弱性やリスクを継続的に検出・評価する取り組みのこと。

GMO
サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM

「Active! mail」の
脆弱性検知が可能に

GMO CYBER SECURITY
IERAE

【機能拡張の概要】

■ 「Active! mail」における「スタックベースのバッファオーバーフロー脆弱性」とは

「Active! mail」における「スタックベースのバッファオーバーフローの脆弱性」は、遠隔の第三者（攻撃者）が細工したリクエストを送信することで、以下のような深刻な影響を及ぼす可能性があります。

- ・ 任意のコードを実行
- ・ サービス運用妨害（DoS）状態を引き起こす

これらの脆弱性の危険度を表す CVSS スコア^(※2) は 9.8 (最高値は 10.0) と極めて高く、この脆弱性を悪用した攻撃が既に確認されているということから、早急な対応が必要です。

2025 年 4 月 18 日 (金) に「JVN」および株式会社クオリアのコーポレートサイトにて、本脆弱性情報および修正済バージョンの公開を発表しています。ユーザーの皆さまには、最新バージョンへのアップデートと、万が一に備えたメールアドレスのパスワードの変更を推奨いたします。

対象製品	「Active! mail (アクティブメール)」
想定される影響	遠隔の第三者 (攻撃者) によって細工されたリクエストを送信された場合、任意のコードを実行されたり、サービス運用妨害 (DoS) 状態を引き起こされたりする可能性があります。
CVSS スコア	基本値: 9.8
CVE 番号 ^(※3)	CVE-2025-42599
対策方法	開発者が提供する情報をもとに、最新バージョンにアップデートしてください。 最新バージョン : Active! mail 6 BuildInfo: 6.60.06008562

(※2) システムやソフトウェアが持つ脆弱性の深刻度を評価する国際的な指標で、Common Vulnerability Scoring System の略。

(※3) Common Vulnerabilities and Exposures の略で、公開されているセキュリティ上の脆弱性を識別するための共通の識別子のこと

サービス

既知の脆弱性が存在するソフトウェアの利用 (Active! mail)

▲ 至急対策してください。

説明

脆弱性が報告されているバージョンのソフトウェアを利用しています。
この脆弱性により、攻撃者がシステムに対して不正な操作を行うリスクが高まります。
該当するソフトウェアについては、最新のパッチを適用し、脆弱性を修正することを強く推奨します。

<対象のバージョン情報一覧>
・ 6.60.05008561

<検出したCVE番号一覧>
・ CVE-2025-42599
CVSS: 9.8
すべてを表示

リスク詳細

レベル: 緊急 | バージョン管理の不備

バージョン情報をもとに、**既知の脆弱性**を狙った攻撃を受ける恐れがあります。
また、検出されたバージョンのソフトウェアに**既知の脆弱性**がない場合でも、調査により他の要因から脆弱性が見つかり、攻撃の糸口となる可能性があります。
バージョン情報の秘匿化と、適切なセキュリティ対策の実施が重要です。

対策方法

脆弱性が確認された場合、公式のセキュリティパッチがリリースされていることを確認し、速やかに適用することで、システムの安全性を確保します。

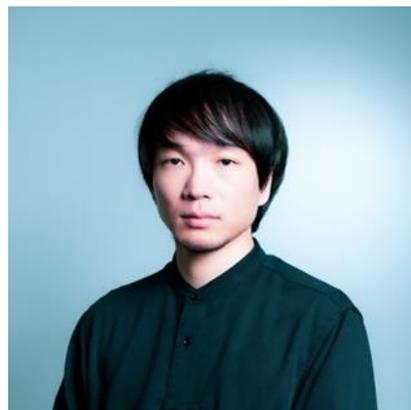
「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」における「Active! mail」の脆弱性検知画面

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」開発チームのコメント】

■ サービス責任者 市川 遼

「Active! mail」は日本国内の様々な組織で利用されていますが、Web メールは侵害されるとメールアドレスを起点にパスワードがリセットされ、それにより他のサービスにも不正アクセスの被害が広がるリスクがあり、早急な対応が求められます。「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の「ドメイン棚卸」機能をご活用いただくと、自社で「Active! mail」を利用しているかどうか分からない場合でもドメインから辿って脆弱なバージョンのまま利用していないかスムーズに確認できます。

脆弱性対策はまず IT 資産の把握から。「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」はその第一歩をサポートします。



(参考) 「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」ホワイトハッカーのノウハウを活用した新機能「ドメイン棚卸」をリリース
～お客様からの要望に応え、IT 資産を自動で一覧化、アタックサーフェス管理の効率化を促進～

<https://gmo-cybersecurity.com/news/20250214/>

■ 診断エンジン開発者 大西 和貴

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の開発チームは、サイバー攻撃の手法に精通したホワイトハッカーと、システム開発経験が豊富なエンジニアで構成されています。

今回報告された脆弱性は、その影響度から非常に危険性が高く、迅速な対応が必要です。当社は診断システムを自社で開発しており、柔軟な表現力を維持しつつ一定のフレームワーク化を図ることで、迅速なシグネチャの実装を実現しています。今後も脅威動向を注視し、安全なインターネット環境の実現に貢献してまいります。



【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」について】(https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、簡単かつ直感的に使用が可能な国産 ASM ツールです。お客様の社名やサービス情報、IP アドレスをもとに、攻撃対象となる可能性がある Web サイトやネットワーク機器を特定し、定期的なセキュリティ診断を実施します。これにより、自社 IT 資産の棚卸とリスクの可視化を行うことができます。

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

(<https://gmo-cybersecurity.com/>)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
マーケティング部 広報担当 伊礼
TEL : 03-6276-6045
E-mail : irei@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 田部井
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)

会 社 名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■ Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ ペネトレーションテスト ■ 不正利用 (チート) 診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■ 自動車脆弱性診断 ■ フォレンジック調査 ■ CSIRT 支援 ■ クラウドセキュリティ診断 ■ クラウドセキュリティ・アドバイザー
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■ グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.